



2021年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社ダイオーズ
代表者名 代表取締役社長 大久保 真 一
(コード：4653、東証第一部)
問合せ先 執行役員管理本部長 稲垣 賢 一
(TEL. 03-5220-1122)

連結子会社における特別損失の計上及び
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社において2021年3月期決算に際して特別損失を計上いたしました。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年3月期通期の業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の連結子会社であるDaiohs U. S. A., Inc. では新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、いくつかの支店において、過去の企業買収に関連した無形固定資産及び有形固定資産が、事業環境の変化に伴う収益性の低下があることから、将来の収益見込みを検討しました。その結果、その一部(13億92百万円)を減損損失として、特別損失に計上することといたしました。

なおこの他に、2020年11月16日発表の2021年3月期第2四半期決算短信に記載の通り、Daiohs U. S. A., Inc. において取得を予定していた顧客関連資産の手付金(1億59百万円)を減損損失として特別損失に計上しております。

2. 2021年3月期通期連結業績予想値の修正

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	百万円 23,433	百万円 △1,903	百万円 △2,028	百万円 △1,653	円 銭 △123.10
今回予想 (B)	23,323	△1,545	△1,408	△2,138	△159.23
増減額 (B-A)	△110	357	620	△484	—
増減率 (%)	△0.5	18.8	30.6	△29.3	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	36,336	1,514	1,480	1,013	75.45

3. 業績予想修正の理由

米国部門においては感染拡大の影響が長期化したことから、売上高が大きく減少する一方利益面は経費抑制が進みましたが、親会社株式に帰属する当期純利益は「1. 特別損失（減損損失）の計上について」に記載した無形固定資産及び有形固定資産に関する減損損失により、前回発表した予想値を下回る見込みです。

この状況を受け、通期連結業績予想を修正することといたしました。

- ※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、2021年3月期の通期連結決算及び2022年3月期の連結業績予想の開示は、2021年5月17日を予定しております。

以 上